

3月の小さな司書のラジオ局

ひさびさに「何をラジオで話そうか？」みんなでアイデアを出し合い決めて臨んだラジオの収録。選んだテーマは『子ども司書の家出計画』、『コロナ前と後で変わったこと』、『オタクトーク』の3本立て。“コロナ”と“オタク”を同じ番組で取り上げてしまうのが、小さな司書のラジオ局のおもしろいところですね。

子ども司書にはおなじみの企画、「家出計画」チームは、「おとなになったら家出ではなく夜逃げになってしまうので子どものうちにやることをおすすめします」なんて言葉選びが秀逸で、思わずずっと笑ってしまいました。「コロナ前と後の生活」のチームは、中止になってしまった音楽会の話やお通夜のように静かに食べる給食のさみしさなど、リアルにみんなの生活に影響を与えたコロナを実感。それでも深刻になりすぎずにゆるっとした語り口とのギャップがよかった！オタクトークはとにかくその名の通りみんなの「好き！」があふれていて、その熱量がすごかったです。自分の好きなことならどれだけでも語れるのはおとなも子どもも一緒。共感するリスナーも多かったのではないのでしょうか。



今月は1期生から6期生まで幅広い年代の子ども司書が集結！みんなの自由な発想で生まれた言葉が収録を見ている人にもしっかり届いて、笑いがたくさん起こっていましたね。企画会議の話し合いでもお互いに提案したり、突っ込みを入れたりしながらみんながいい感じに混ざり合い、おもしろい化学反応が起きていました。コロナで大変なこともたくさんあった1年だったけど、とってもいい形で今年度最後のラジオづくりができたんじゃないかと思います。